

兵庫県産かみきりもどき科*

高橋 寿郎

T. Takahasi; Oedemerid-Beetles of Hyōgo-Prefecture

かみきりもどき科 (Oedemeridae) は甲虫類の異節群に属し、体形は細くカミキリムシに似ているので上の名がある。幼虫は朽木や落葉中にもみられ、成虫は樹葉上や花上にみられ、燈火に来るものもある。中には人体にふれた時水腫を生ずる液を出すものがあるとの事。

本科のものに就いては河野広道博士が日本動物分類、No.21 (1937) に旧領土内のものをまとめられ中根猛彦博士は新昆虫誌上 (Ⅲ, 11&12, Ⅸ, 1, 1955&1956) に現在の日本産をまとめられておられるので同定は非常に楽である。

現在の日本産本科のものは1亜科、3族、14属、38種が知られている。兵庫県産のものは1亜科、3族、6属15種産する事が調査出来た。

Family Oedemeridae かみきりもどき科
Subfamily Oedemerinae かみきりもどき亜科
Tribe Nacerdini かみきりもどき族
Genus Nacerdes Dejean つまぐろかみきりもどき属

1. *Nacerdes melanura* (Linné)

ツマグロカミキリモドキ

大部分黄褐～橙黄色で翅端と眼は黒く、前背板両側はやや暗色をおびる。全世界に広く分布し海に近い所に多い、神戸市内で6月頃よく飛翔しているのを得られ普通種である。産地:神戸市御影〔関, 1933〕, 烏原 (1Ex., 15—Ⅵ—1952, 1Ex., 27—Ⅵ—1952), 山の街 (1Ex., 30—Ⅴ—1954, 3Exs., 1—Ⅵ—1958)

分布: 日本 (北海道、本州、九州)

Genus *Ezonacerda* Kano くろかみきりもどき属

2. *Ezonacerda nigripennis* (Matsumura)

クロカミキリモドキ

全体黒色で暗色毛を装い、小臑枝は赤みをおびる。本州山地帯に産する種として知られているが県下水の山の記録がある。

産地: 養父郡水の山〔大槻, 1957〕

分布: 日本 (北海道、本州)、南千島、樺太

Genus *Xanthochroa* Schmidt ながかみきりもどき属
本属のものは樹葉上、花上、夜間電燈に飛来する。

3. *Xanthochroa atriceps* Lewis キクビカミキリモドキ

頭部、体下及び肢の大部分 (腹端部は橙黄色) が黒いので他の種と区別出来る。山地性の種で燈火に飛来し北海道では多数が来て人体に水腫を生ぜしめる事があるそうである。県下では稀な種の1つであろうと考えられる。

産地: 養父郡水の山 (1Ex., 27—Ⅶ—1956)

分布: 樺太、南千島、日本 (北海道、本州、九州)

4. *Xanthochroa wadai* Nakane

ワダカミキリモドキ

大形で頑丈な種でありアオカミキリモドキ及びその近似種とは腹面が褐色で緑藍光沢をおび、前胸もまた褐色をおびる点で区別出来、尾端の形状でも判別出来る。

原産地は摩耶山であり九州には可成り産するとの事である。筆者は未採集であるが大倉正文氏は六甲山紅葉谷で採集しておられる。

産地: 摩耶山, 1♂, 26—Ⅵ—1949, Y. Wada, Kobe, 1♀, 17—Ⅶ—1949, Shibanaï [T. Nakane, Sci. Rep. Saikyo Univ., 1, 4, 1954], 神戸市六甲山〔大倉氏, 1956〕

分布: 日本 (本州、九州)

5. *Xanthochroa waterhousei* Harold

アオカミキリモドキ

普通種である。体は黄色～橙黄褐色で上翅は青藍または銅紫色をおび近似の種とはもでは生殖節の2葉片が左右から相あわさった形であり、♀では尾節端先端が彎入していない点で区別される。

産地: 神戸市御影〔関, 1933〕, 烏原 (1Ex., 24—Ⅴ—1953), 山の街 (1Ex., 3—Ⅶ—1955), 氷上郡〔山本, 1958〕, 養父郡水の山 (2Exs., 27—Ⅶ—1956)

分布: 日本 (北海道、本州、四国、九州), 樺太、朝鮮

6. *Xanthochroa katoi* Kôno

カトウカミキリモドキ

前種に良く似ているが♂の生殖節の2葉片は中央線で左右相接し、外側方に向って広がる事で区別出来る。余り個体数は多くないようである。

産地: 飾磨郡雪彦山 (5Exs., 14—Ⅶ—1957)

分布: 日本 (本州、四国、九州)

*兵庫県産甲虫相資料15.

7. *Xanthochroa caudata* Kôno

シリナガカミキリモドキ

本種も上記2種に良く似ている、♀の尾端節は甚だ長く、♂の生殖節も長く後方に突出するので容易に判別出来る。

産地：川西市一の鳥居 (1Ex., 17—VI—1954), 神戸市鳥原 (1Ex., 27—VI—1952), 山の街 (1Ex., 30—V—1954, 1Ex., 13—VI—1954), 養父郡水の山 (1Ex., 21—VII—1958, 1Ex., 25—VII—1959)

分布：日本 (本州、四国、九州)

8. *Xanthochroa hilleri* Harold

キイロカミキリモドキ

体の上下面ともに明るい黄褐～黄色であるのですぐわかる種であり、燈火によく来る普通種である。

産地：川西市一の鳥居 (2Exs., 22—VI—1952), 神戸市六甲山 (1Ex., 10—VII—1955), 二十渉 (1Ex., 26—VI—1955), 金剛童子山 (1Ex., 24—VI—1956), 飾磨郡雪彦山 (3Exs., 14—VII—1957), 水上郡〔山本, 1958〕, 養父郡水の山 (1Ex., 25—VII—1955, 6Exs., 27—VII—1957, 1Ex., 21—VII—1958, 1Ex., 25—VII—1959)

分布：日本 (北海道、本州、四国、九州)

9. *Xanthochroa luteipennis* Marseul

キバナカミキリモドキ

体が黒色で上翅が黄褐色なので区別出来る、少い種であると思はれる。

産地：神戸市山の街 (1Ex., 1—VI—1958), 水上郡〔山本, 1958〕, 養父郡水の山 (1Ex., 27—VII—1957, 2Exs., 21—VII—1958)

分布：日本 (北海道、本州、四国、九州、屋久島), 朝鮮

10. *Xanthochroa spinicoxis* Nakane

コゲチャカミキリモドキ

大形種、全体暗褐色、腹部も同様、*X. strandi* Kôno ウスグロカミキリモドキに良く似ている。♂でははっきり区別点があるが♀では同様なので区別困難である。四国には亜種 *subsp. hiraii* Nakane が知られている。稀であると思はれる。

産地：養父郡水の山 (1Ex., 21—VII—1958)

分布：日本 (本州)

Tribe Asclerini ふとかみきりもどき族

Genus Asclera Dejean ふとかみきりもどき属

11. *Asclera nigrocyanea* Lewis

アオグロカミキリモドキ

暗青藍色で光沢鈍く、特に上翅は光沢がない、やや平たい。普通に産する。

産地：神戸市鳥原 (1Ex., 5—V—1958), 山の街 (1Ex., 26—IV—1957), 谷上 (2Exs., 30—IV—1958, 3Exs., 3—V—1957), 円生山 (5Exs., 5—V—1956)

分布：日本 (北海道、本州、四国、九州), 千島

12. *Asclera brunneipennis* Lewis

ハネアカカミキリモドキ

体は黒色で触角、肢も黒く、上翅のみ赤褐色で黒色毛を装う。中根氏に依ると♂は *A. carnicollis* Lewis の♂と混同されているらしいとのこと。

非常に稀な様で水の山で採集出来たのみである。

産地：養父郡水の山 (1♀, 25—VII—1959)

分布：日本 (北海道、本州)

Tribe Oedemerini かみきりもどき族

Genus *Oncomerella* Reitter

まだらかみきりもどき属

13. *Oncomerella venosa* Lewis

マダラカミキリモドキ

汚黄褐色、前胸背の両側と中央縦条、各基節、前中脛節の大部分、腿節の端部、上翅の隆線などは濃褐～黒色である。

産地：水上郡〔山本, 1958〕, 宍粟郡音水 (1Ex., 21—VI—1959), 養父郡水の山〔高橋, 1959〕

分布：千島、日本 (北海道、本州、四国、九州)

Genus *Oedemeronia* Seidlitz

ももぶとかみきりもどき属

14. *Oedemeronia lucidicollis* Motschulsky

モモブトカミキリモドキ

最も普通種で常に濃藍色である。

産地：神戸市鳥原 (1Ex., 29—IV—1955), 山の街 (2Exs., 11—IV—1954), 谷上 (2Exs., 3—VI—1957, 2Exs., 29—IV—1958), 水上郡〔山本, 1958〕

分布：日本 (北海道、本州、四国、九州), 千島

15. *Oedemeronia manicata* Lewis

キアシカミキリモドキ

常に体は暗緑のくすんだ金属色であり、各基、転節および前肢 (腿節基部を除く) は黄色である。割合産するようである。

産地：神戸市円生山 (2Exs., 18—V—1958), 谷上 (2Exs., 5—V—1955), 水上郡〔山本, 1958〕, 養父郡水の山 (1Ex., 27—VII—1956)

分布：日本 (本州) (May—1961).